先輩たちから祝福の言葉をいただきました

フジテレビアナウンサー
木村拓也さん

二十歳を迎えたこの機会に、ご両親へ「ありがとう」と伝えてあげてください。私は当時、素直に言えず後悔しました。以前、お酒を飲みながら両親と話をする機会があり、私が生まれた時のことを聞くとすごく喜んでくれて。今もスマホにその内容を残してありますが、見返すたびに両親の愛情を感じつつも、素直に「ありがとう」を言えなかったことが、ずっと心残りです。

言葉に出して思いを伝えること、恥ずかしくてなかなかできないですよね。だからこそ、このタイミングで感謝の気持ちを伝えてあげてください。その一言で「20年間育ててきてよかった」ときっと喜んでくれますよ。ご両親とのこれからの時間を、ぜひ、大切にしてください。

総和中学校
国語科教員
星田潤さん

この世界は数多の言葉でできています。勇気づけてくれる偉人たちの名言。漫画の中の感情揺さぶるセリフ。推し歌手の心に響く歌詞。もちろん、家族や仲間からかけてもらった言葉も。つまり、あなたは、これまでに出会った言葉でできているのです。

言葉を大切にする人生を謳歌してください。

(一社)古河青年会議所
第46代理事長
髙橋拓也さん

私が二十歳の頃は、若気の至りで周りに迷惑をかけることも多々ありました。それでも多くの人に支えられ今の私があります。今の時代「生きづらい世の中になった」なんて言われることもありますが、どうか人とのつながりを大切にし、自分の道を突き進んでください。皆さんが創る新しい時代に期待しています。

合併20周年記念動画を作成しました

ケーブルテレビ古河のご協力の下、古河市合併20周年を記念した動画を作成しました。私たち3人の20年分の「ありがとう」が込められた作品です。ぜひ、ご覧ください。

詳細はこちら

熊谷未彩さん　山中遥史さん　髙矢陽さん

自分たちの手で作り上げた二十歳のつどい

二十歳を迎えた実行委員の皆さんに話を伺いました

❶二十歳を迎えた感想は？
❷実行委員を務めてどう感じましたか？
❸今後の夢や目標を教えてください

実行委員長
奥山陽向さん

1 20歳になったことで責任が増える一方、選択肢も広がったと感じます。自分らしく、後悔のない選択を重ねていきたいです。

2 今年は古河市合併20周年と重なった記念すべき年であり、貴重な節目に関われたこと、頼もしい実行委員のみんなと一致団結して式典を作れたことをうれしく思います。

3 努力することを忘れず、頼られ、誰かに良い影響を与えられる存在でありたいです。

副実行委員長
舟橋飛空さん

1 子どもの心は忘れないように生きていきたいです。また、大人としてしっかり自立していかなければならないと感じました。

2 責任感を持って会議に参加できました。また、この経験は将来役に立つと思いました。

3 これからも自分が掲げている夢に向かって、頑張っていきます。

副実行委員長
岡野愛さん

1 これまで見守り、支えてくれた家族や地域への思いを大切にし、二十歳という節目を迎えることができました。

2 多くの人に支えられ、仲間と共に大切な瞬間をつくれたことで、温かなつながりを感じることができました。

3 これまで育ててくれた両親をはじめ、周囲の人たちへの感謝を忘れず、少しずつ社会に関わっていけたらと思います。

国歌独唱
秋丸ひなのさん

1 20歳の節目に国歌独唱や大学での演奏を経験し、新たな音楽の素晴らしさを日々感じています。

2 国歌独唱という大役を担い、また仲間と協力して式典を作り上げたことで、強い一体感を感じました。

3 将来は教員になって、子どもたちに音楽の素晴らしさを伝えたいです。

実行委員会での話し合いを重ねて

昨年7月から準備を進めてきた実行委員の皆さん。イベントの構成やパンフレットの作成など、さまざまな意見やアイデアが挙げられる中、より良い式典の開催に向けて検討を重ね、当日の成功へとつなげました。